

WASEDA VISION 150 <全体像>

教育・研究の質を飛躍的に向上させ「アジアのリーディングユニバーシティ」として世界へ貢献する大学であり続けます

教 旨

学問の独立 — 世界へ貢献する礎 —
学問の活用 — 世界へ貢献する道 —
模範国民の造就 — 世界へ貢献する人 —

「Waseda Vision 150」とは

- 早稲田大学はこの十数年間、「21世紀の教育研究グランドデザイン」「Waseda Next 125」を策定し、様々な改革を遂行してきた。
- 「Waseda Next 125」は、2008年度に中長期計画として策定され、2012年度までの具体的な施策が提示されている。
- 「Waseda Vision 150」は、「Waseda Next 125」の方向性を踏襲しつつ、早稲田大学創立150周年を展望した改革である。

<Waseda Next 125の方向性>

多文化が共存・融合する地域社会における知の基盤の構築
 総合大学の強みを生かした学際研究の推進
 地球上の至るところを学びの場とし、地球共同体リーダーの育成
 日本文化・アジア文化の国際的研究拠点を形成

- 「Waseda Vision 150」は、教育・研究の現場である各学術院等と大学本部が早稲田大学教旨に則った改革を継続し発展することによって実現するビジョンである。

「Waseda Vision 150」策定の経緯

- **大学の存在意義の再確認**
 - ・グローバルガバナンスが未確立
 - ・Global・Regional・National・Local の各段階に着目
 - ・問題発見・問題解決型の教育・研究を実践
- **外的な要因が大学に問い掛けること**
 - ・少子化の加速と生産年齢人口の減少
 - ・大学間競争
 - ・技術的変革
- **大学から社会に投げ掛けること 一持つべき視野**
 - ・科学技術創造立国の次なる段階を創造
 - ・日本文化、アジア文化を世界へ発信
 - ・グローバル化の次なる段階への対応
- **改革を持続する大学の基礎体力の強化**
 - ・世界基準による大学組織点検
 - ・財務体質の抜本的改革

<早稲田の特色と教育・研究の方向性> 多様性 広がり 開放性

早稲田大学は、「早稲田の杜に人が集まり、早稲田の杜で人が交わり、早稲田の杜から人が散じる、そして、いつでも早稲田の杜に戻ってくる」グローバルな循環と人材湧出の場であり続ける。

Vision

教育・研究ビジョン

世界に貢献する高い志を持った学生

世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する研究

グローバルリーダーとして社会を支える卒業生

大学経営ビジョン

アジアの大学のモデルとなる進化する大学

基 軸

人間力・洞察力を備えたグローバルリーダーの育成

未来をイノベートする独創的研究の推進

校友・地域との生涯にわたる連携の強化

進化する大学の仕組みの創設

核心戦略

- ◆グローバルリーダー育成のための教育体系の再構築
- ◆入試制度の抜本的改革
- ◆教育と学修内容の公開
- ◆大学の教育・研究への積極的な学生参画の推進
- ◆対話型、問題発見・解決型教育への移行
- ◆早稲田らしさと誇りの醸成をめざして
- ◆世界のWASEDAとしての国際展開

- ◆独創的研究の推進と国際発信力の強化
- ◆世界のWASEDAとしての国際展開
- ◆新たな教育・研究分野への挑戦

- ◆グローバルリーダー育成のための教育体系の再構築
- ◆教育と学修内容の公開
- ◆世界のWASEDAとしての国際展開
- ◆早稲田を核とする新たなコミュニティの形成
- ◆早稲田らしさと誇りの醸成をめざして

- ◆進化する大学の仕組みの創設
- ◆早稲田を核とする新たなコミュニティの形成
- ◆教職員の役割と評価の明確化
- ◆財務体質の強化

Project

核心戦略を実現する多彩なプロジェクト

- ◆多様で優秀な学生獲得のための方策の検討と推進
- ◆附属校・系属校を中心とした高大連携の推進
- ◆基盤・専門・教養教育の充実と連携
- ◆TSA/ISA から交換留学プログラム(EX)へのシフト
- ◆語学と教養科目を組み入れた留学生受入プログラムの開発
- ◆社会貢献・ボランティア活動を通じた人材の育成
- ◆「副学位」制度の確立とダブルディグリープログラム改革
- ◆外国人留学生就職活動支援の強化・整備
- ◆教育支援システムの構築
- ◆大学院修士課程との連携を踏まえた学部カリキュラム改革
- ◆学生参画の仕組み創設
- ◆バーチャルミュージアム文化資源データベース公開の強化・拡充
- ◆早稲田らしさと誇りの探求
- ◆研究組織・体制の整備
- ◆研究支援に係る財政基盤点検・強化
- ◆国際共同研究推進
- ◆海外拠点の役割の明確化と、その活用
- ◆健康・医療分野検討
- ◆職員人事制度の改革
- ◆業務構造改革
- ◆予算編成の在り方
- ◆財政規律指標の確立とその遵守
- ◆常時資金獲得体制の構築
- ◆東日本大震災復興支援室
- ◆大学ガバナンス検討
- ◆新たなコミュニティ形成のための基盤施設整備
- ◆学生・校友支援システムの構築
- ◆社会の変化に対応して定期的に入試を改革できる体制の確立
- ◆学部のカリキュラムに密接に連携した国際教育プログラム(SSA)の開発
- ◆中期・短期留学プログラムの開発
- ◆人材育成力および研究力強化のための大学院カリキュラムの体系化
- ◆日本語を中心とした外国学生導入プログラムの拡大
- ◆人間力・地力強化プログラムの整備
- ◆学部・研究科におけるクォーター制の促進
- ◆教育・研究・大学経営・社会貢献における校友との連携
- ◆海外協定校の見直し
- ◆授業におけるTA制度の活用・授業形式見直し
- ◆地域との連携による文化発信と施設の有効活用
- ◆早稲田大学百五十年史編纂
- ◆研究支援体制・制度の点検・強化
- ◆研究情報発信力の強化
- ◆研究支援システムの構築
- ◆国際展開戦略策定
- ◆外国人研究者受入制度の再構築
- ◆分野連携検討
- ◆本学における教員と職員の役割の明確化と教員の評価基準の明確化、諸制度改革
- ◆多様な職員採用、人材育成
- ◆事業別予算制度の構築
- ◆あるべき学費体系の検討
- ◆校友会費の恒常的確保
- ◆事業評価制度・新規事業立案の構築
- ◆男女共同参画・ダイバーシティの推進
- ◆校友を核とする新たな早稲田ファンの獲得
- ◆多様なコミュニティの創出
- ◆オナーズプログラムのあり方検討
- ◆社会人教育プログラムの拡充
- ◆奨学金制度設計
- ◆留学経験者キャリア支援の強化
- ◆科目数削減、密度の高い教育の推進
- ◆「Good Practice」の整理および普及・展開
- ◆世界に向けての文化発信
- ◆早稲田スポーツの新たな展開
- ◆若手研究者プロモーションの推進
- ◆大学総合研究センター（仮称）設置検討
- ◆研究の国際発信支援制度の創設
- ◆戦略的広報の推進
- ◆教員派遣制度の見直し
- ◆芸術分野検討
- ◆大学運営支援システムの構築
- ◆財政戦略懇談会の設置
- ◆賃金構造の改革
- ◆学術院体制検討
- ◆サイバーセキュアキャンパスの整備
- ◆課外活動等の場の充実
- ◆中野国際コミュニティプラザ推進

学術院等の将来構想

政治経済学術院
共生社会の善き生と正義の実現に寄与する学問研究の不断の追求の中から、在野の精神に立ってグローバル社会の未来を切り開く自律的な次世代を創出する

法学学術院
国内的にはもちろん、国際的にも最高レベルの法学教育、研究機関としてのプレゼンスを、より強固なものとして確立する

文学学術院
文化の伝統を未来に開く、知の交差点
時代を先取りした大改革を実現し、たゆまぬ歩みを続けています

教育・総合科学学術院
次の時代を創り、次の世代を育てる若者を育てます

商学学術院
社会と連携した教育・研究体制を強化し、18歳から経営幹部層までの幅広い年齢層の人々に対して、基礎から最先端レベルのビジネス教育を行い、国際的プレゼンス向上を目指す

理工学術院
智の創造、智の継承、社会への直接貢献—国際的に際立つ、理工系の教育・研究拠点の形成—

社会科学総合学術院
社会を理解し、社会を構想し、社会を創成する実践的アカデミズムの追求

人間科学学術院
現代社会がかかえる課題に挑戦する「学際的」「総合的」「実践的」な質の高い教育プログラムと、それを支える戦略的な研究体制を実現し、多様な世界と連携した開かれた大学をつくる

スポーツ科学学術院
系統的な教育・研究体系を構築することにより、スポーツ科学分野において世界トップテンの教育・研究拠点となるための礎を築く

国際学術院
アジアの時代において世界の高等教育のハブになるための体制と態勢を整備し、国際的研究・教育の質の高い拠点機関とする

高等学院
広げ、深め、つながる教育 —幅広い教養、専門分野への深い探究心、高いコミュニケーション能力を育む教育の展開—

本庄高等学院
地域の特色を活かした「森に想い土に親しむ」教育を一層発展させた「大久保山学」をテーマに、教科横断型の教育・研究活動を通して、社会の各分野で活躍できるリーダーを育成する

芸術学校
潜勢力としての文科系社会人を対象とし、総合芸術としての「建築」に特化したクリエイティブな高等教育を行うスーパースクールへとさらなる高級ブランド化を図り、「建築の早稲田」の再生に寄与する

改革の姿勢

1. 多様性や個性を尊重し、早稲田の特色を活かしながら、教職員・学生・校友が目標を共有して**能動的・主体的に一丸となって改革を推進**する。
2. 従前の形式的な平等から、**選択と集中、適切な競争原理**のもと奨励されるべき教職員・事業を**積極的に評価**する。
3. 部門間、学部・大学院間の**壁を越えて資源の有効活用**を図る中で新規事業を実施し、**財政を圧迫しない改革**とする。

Policy

早稲田を支える11の基本方針

- <学生関係> ◆ディプロマ・ポリシー ◆カリキュラム・ポリシー ◆アドミッション・ポリシー ◆学生支援ポリシー
- <教員関係> ◆リサーチ・ポリシー ◆ファカルティ・ディベロップメント(FD)・ポリシー ◆教員採用ポリシー
- <大学運営関係> ◆職員採用ポリシー ◆スタッフ・ディベロップメント(SD)・ポリシー ◆大学運営ポリシー
- ◆情報公開・発信ポリシー